

英語科学習指導案

日 時：令和4年11月18日（金）5校時
 対 象： 1年1組 20人
 指導者： T1 伊堂寺 朝美（市来中学校）
 T2 竹之下 紀子（市来小学校）

1 単元名 NEW HORIZON English Course 1 Stage Activity 2 My Hero

2 単元について

(1) 単元の価値

小学5年の Lesson 6「My Hero あこがれの人をしょうかいしよう」で下のような平叙文であこがれの人を紹介する方法を学習している。

紹介文例

This is Hirano Miu.
 She is a table tennis player.
 She is good at table tennis.
 She is my hero.

(Junior Sunshine 3 (開隆堂))

中学1年では Unit 9 までに学んだ学習事項の理解をもとにヒーローについてお互いにたずね合い、得た情報をもとに紹介する内容に発展させている。身近な言語を扱うことができるので興味・関心が高まりやすい単元である。

また、単元の終末には小学校の先生のヒーローを紹介する新聞を作成し小学生に紹介することで、伝えることの喜びも味わう機会としたい。

(2) 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	(知識) ・ Unit 9 までの学習事項（言語材料）の形・意味を理解している。 (技能) ・ 自分のヒーローについての対話を聞き取る技能を身に付けている。	・ 対話の中での質問文を正しく理解し、その答えとして何が述べられているのかを即座につかんでいる。 ・ 部分的な聞き取りではなく、対話の流れに沿って重要な情報を拾い、整理している。	・ これまで学習した疑問詞や代名詞に注意し、対話からできるだけ多くの情報を聞き取ろうとしている。 ・ 教師の問いかけを聞き取り積極的に応答しようとしている。
読むこと	(知識) ・ Unit 9 までの学習事項（言語材料）の形・意味を理解している。 (技能) ・ Unit 9 までの学習事項（言語材料）の理解をもとに好きな有名人についての紹介文を読み取る技能を身に付けている。	・ クラスメートが書いた文章を読み、良い点や改善できる点を見付けている。	・ 書き手の伝えたいことを読み取ろうと努め、読んだ内容について自分の意見や感想を積極的に伝えようとしている。

<p>「話や すり こと とり 」</p>	<p>(知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> Unit 9までの学習事項(言語材料)の形・意味を理解している。 Unit 9までの学習事項(言語材料)の理解をもとに好きな有名人について質問したり答えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の答えをよく聞きながら、クイズの正解にたどり着くために必要な質問をしている。 スムーズなやり取りになるようあいづちや、つながりの言葉を効果的に使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> どのような質問をすれば相手のヒーローを当てることができるかを考えて、質問している。
<p>書く こと</p>	<p>(知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> Unit 9までの学習事項(言語材料)の形・意味・用法を理解している。 <p>(技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> Unit 9までの学習事項(言語材料)の理解をもとに、自分のヒーローについて正確に伝えるまとまりのある文章を書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のヒーローを知ってもらうため読み手を意識した理解しやすい文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> どのような文章構成にすれば読み手が理解しやすいかを考え、クラスメートのアドバイスをもとに、より良いライティングへと改善しようとしている。

(3) 本校英語科・本学級の生徒の実態

本学級は明るく、積極的であり、英語学習への意欲・関心が高く、毎時間、楽しい雰囲気の中で学習ができています。

学力に個人差はあるが、英語で会話をすることを楽しんだり、間違いを恐れずに表現活動を行ったりすることのできる授業の雰囲気を整えていきたい。また、生徒が積極的に発表する機会を多く取り入れ、助け合ったり、アドバイスし合ったりする中で、お互いを認め、共に学ぼうとする態度も育てていきたい。

さらに、小学校の先生方と連携することで、小学校での学びが現在に繋がっていること、今の学びが将来に繋がっていくことを認識させ、学ぶことの大切さを伝えたい。

(4) 小中一貫教育に関する留意点

市来中学校区では、小中一貫教育における「乗入れ授業」を実施している。原則、中学校で乗入れ授業を行う場合は、中学校担当者が T1、小学校担当者が T2、T3 となる。本時は、市来小学校の教員が T2 として指導にあたる。

本研究を進めるにあたり、T2、T3 の役割には次のような効果を期待し、T1、T2、T3 が十分に連携を図りながら、小中一貫教育におけるチーム・ティーチングの実践を重ねていく。

ア 小学校の教員が T2、T3 として指導に関わることで、中学校での学習の不安(いわゆる中1ギャップ)の軽減を図る。

イ T2、T3 は、これまでの児童の実態をもとに、学習課題の理解を助けたり、個別指導を行ったりすることで、学習内容の定着を図る。

ウ T2、T3 は、生徒が既習事項をもとに考えることができる授業展開となるように T1 にアドバイスをする。

エ T2、T3 は、T1 の発問に対して、前年度の児童生徒の実態把握をもとにして、意図的指名を行う。また、T2、T3 は、生徒の発言に対して、切り返しの発問等を行い、生徒の思考を深めていく。

オ T1、T2、T3 で役割演技を行い、生徒の学習内容の理解を深める。

3 単元の目標

- (1) 好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり，説明したりすることができる。
- (2) 疑問文を用いた対話活動を通して，間違いを恐れずに協働してコミュニケーションを図ろうとしている。

4 指導計画（全3時間 本時2 / 3）

時	主な学習過程	主な学習活動	指導の重点			
			L	S	W	R
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル文の理解 ・ 質問の仕方の確認 ・ いろいろな質問と答え方の練習 ・ 発表内容の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対話を聞き正しい項目を選ぶ。 ・ Who is my hero?の例を見て空欄を埋める。 ・ 会話練習を行う。 ・ 質問と答え方の練習を行う。 ・ 自分のヒーローを一人決定し，知っていることをメモする。 ・ ペアでたずね合う。 	◎	◎		○
第2時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の復習 ・ 先生方へ"Who is my hero?"クイズをする。 ・ 先生が話した内容を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問と答えの表現を練習する。 ・ モデルを確認する。 ・ 小学校の先生に質問する。 ・ 先生が話したことを振り返る。 ・ メモをもとに先生のヒーローについてまとめる。 	○	◎		○
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時で話した内容を振り返り，文章を書く。 ・ 書いた文章を，ロイロノートで共有する。 ・ 小学生への新聞作成をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ メモした内容をもとに小学校の先生のヒーローについてまとまりのある文章を書く。 ・ 完成した文章をロイロノートに入力しクラス全員で共有する。 ・ 個々で書き上げた文章を新聞としてまとめ，小学生に紹介する。 			◎	○

5 本時の指導計画

(1) 本時の目標

- ア これまでの学習事項（言語材料）の形・意味・用法をもとに，自分のヒーローについて質問したり，考えたりすることができる。 【知識・技能】
- イ 相手の答えをよく聞きながらクイズの正解にたどり着くために必要な質問を即興で投げかけることができる。 【思考・判断・表現】
- ウ 相手の伝えたいことを聞き取ろうと努め，質問した内容について自分の意見や感想を積極的に伝えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 本時の展開

過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点と評価 (※評価)
導入	1 日常会話を含んだ英語の挨拶をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の表情を見ながら明るく挨拶する。(T1・T2) モデル対話を使って確認させる。(T1)
	2 前時の学習内容を振り返る。		
展開	3 本時の学習目標を確認する。(T1)		<ul style="list-style-type: none"> T1 のヒーローの紹介文を提示してゴールへのイメージをもたせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ヒーローについて相手に分かりやすく紹介するためには、どのようなことを聞き、整理してまとめればよいだろうか。 </div>		
	4 いろいろな質問の仕方・答え方を復習する。	5	<ul style="list-style-type: none"> 質問項目を確認させる。(教科書 P.96)
	5 表現定着のために口頭練習をする。		<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例を使って口頭で練習させる。
	6 友達同士で” Who is my hero ?"クイズを行う。	5	<ul style="list-style-type: none"> T1・T2 でモデルを示す。 会話の際のあいづち、つながぎの言葉、聞き返しの表現を効果的に活用したり、感想を述べたりするように指導する。
	7 先生 (T2) のヒーローについてたずねる。	5	<ul style="list-style-type: none"> 質問項目を見せながら全員で質問の確認をさせる。
	8 授業を参観している小学校の先生方のヒーローについて生徒個々でたずねる。	10	<ul style="list-style-type: none"> 役割や手順を確認させる。 ロイロノートのメモの取り方を全体で確認しながら進める。 ロイロノートにメモを取りながらペアで協力して活動する。
	9 聞いた内容をペアで確認しメモを見ながら口頭でまとめる。	10	<ul style="list-style-type: none"> 会話の際のあいづち、つながぎの言葉、聞き返しの表現を効果的に活用したり、感想を述べたりするように指導する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ヒーローの職業、特技、誕生日、年齢、出身地、身長、自分のヒーローである理由をたずねて、やり取りした中から、読み手にとって必要な情報を整理してまとめればよい。 </div>		
			※ 先生方のヒーローについてペアで口頭でまとめることができたか。 ※ 「3つの J」(字数5文以上)(時間5分)(条件:名前・職業・特徴やよさ・自分の気持ち)を意識して英文を言えたか。
終末	10 先生方のヒーローについて紹介する文章を書く。	10	<ul style="list-style-type: none"> 書けない単語は日本語で表記しておき、次時に完成させる。
	11 達成度の自己評価をする。		<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カードで確認する。
	12 家庭学習・次時学習の確認をする。		<ul style="list-style-type: none"> 宿題のメモを取らせる。 次時に紹介文を書いて、小学生への新聞を作成することを伝える。
	13 終わりの挨拶をする。		<ul style="list-style-type: none"> 温かい明るいあいさつで終わる。

6 本時の板書計画

Friday, November 18th, Sunny
Stage Activity 2 (教科書 p 96 ~ 97)

Today's
Goal

ヒーローについて相手に分かりやすく紹介するためには、どのようなことを聞き、整理してまとめればよいだろうか。

Step 2 質問の仕方を確認しよう

Step 3 対話するときに気を付けよう

Who is my hero?
Can you guess?

あいづち・つながりの言葉・聞き返す・感想を言う

Is it a man?

Yes, it is.

What does he do?

Step 4 話したことを振り返ってまとめよう

He's a singer.

What song does he sing?

He sings Sakura.

Oh! Is it Ryoma?

That's right.

職業

特技

理由

誕生日

年齢

出身

身長

名前・職業など
(2文以上)

特徴やよさ
(2文以上)

自分の気持ち
(1~2文)

Who is my
hero?

先生の
写真

My hero is ~.

Hero の
写真

by 作成した人の名前

Stage Activity 1 小学校の先生にたずねよう

ペアでメモをとるか質問をするか決める。

- 1 名前をたずねる
May I have your name please?
- 2 写真を撮ってよいかたずねる (メモを取る人が聞く)
Can I take a picture?
- 3 質問を始める
Is it a man? で会話を始める→タブレットにメモをとる
- 4 クイズの答えを考えて伝える
Oh, is it ~~~~~ ? ※ 答えが分からない時は
I don't know. Please tell me.
- 5 お礼を述べる (2人で言う)
Thank you very much.

※ 事前資料 (授業の中で生徒が先生方のヒーロについて下記のような質問を英語でします)

- ・ 先生方のヒーロについてお聞かせください。なるべく生徒が想像しやすい人・キャラクターをお願いします。

○ 伊堂寺の例

My Hero			
ヒーロー名	イチロー	職業	野球選手 メジャーリーガー (シアトルマリナーズ)
性別	男	特技	野球
誕生日	1973年10月22日	身長	180 cm
年齢	49歳	好きな理由	偉大な野球選手 努力の天才 驚異のルーティン
出身	愛知県	その他	

My Hero

ヒーロー名

職業

性別

特技

誕生日

身長

年齢

好きな理由

出身

その他

My Hero

ヒーロー名

職業

性別

特技

誕生日

身長

年齢

好きな理由

出身

その他